

AWiLシンポジウム

グローバル女性リーダーが未来を創る

— お茶の水女子大学からの発信 —

日時 平成25年1月22日(火) 16:45 ~ 18:45

16:45 ~ 16:50 開会挨拶
16:50 ~ 16:55 来賓挨拶
16:55 ~ 17:45 基調講演「グローバル人材育成～グローバル社会で活躍するために～」
17:50 ~ 18:40 パネルディスカッション
18:40 ~ 18:45 閉会挨拶

場所 お茶の水女子大学
大学本館 306 室

入場 無料 定員 100 名、事前申し込み受付中
詳細はこちらから↓
http://www.ocha.ac.jp/event/a-wil_2013.html

基調講演 登壇者



檜田 松瑩 氏

三井物産株式会社 取締役会長

東京大学工学部精密機械工学科卒業。1967年、三井物産(株)入社。30代半ばから5年間駐在した英国では、ロンドンを拠点にアフリカ各国を多数訪問し、フロンティア・ビジネスの開発に奔走。2009年より現職就任。日本経済団体連合会副会長、日本銀行参与、日本貿易会会長など要職を歴任。

- 主催：国立大学法人お茶の水女子大学
- 託児あり(小学生以下無料) 12/28 締め切り
- お問い合わせ・お申し込み：
お茶の水女子大学 リーダーシップ養成教育研究センター
Fax：03-5978-5520 E-mail：info-leader@cc.ocha.ac.jp

【AWiLとは】

「A-WiL」は、お茶の水女子大学の事業「女性リーダーを創出する国際拠点の形成」(文部科学省特別経費 平成22年度～27年度)の略称で、その英語名「International Research Program for the Advancement of Women in Leadership」に基づいています。

パネルディスカッション 登壇者



國井 秀子 氏

リコー IT ソリューションズ株式会社
取締役会長執行役員

お茶の水女子大学大学院理学研究科物理専攻修士号取得。テキサス大学オースティン校のコンピュータサイエンス学科にて Ph. D. 取得。2008 年より現職就任。日本学術会議連携会員、文部科学省中央教育審議会委員、内閣府男女共同参画推進連携会議議員などを歴任。日本におけるダイバーシティ推進に企業人として貢献する。



橘・フクシマ・咲江 氏

G & S グローバル・アドバイザーズ株式会社
代表取締役社長

スタンフォード大学大学院経営修士課程修了(MBA)。2009年より2010年までコーン・フェリー・インターナショナル(株)日本支社代表取締役会長。2010年より現職。人材のグローバル競争力強化、企業のガバナンスに関するコンサルティングを行う。2008年に「世界で最も影響力のあるヘッドハンター・トップ100人」に唯一の日本人として選ばれる。



原山 優子 氏

東北大学大学院工学研究科教授

中学2年でパリに3年間留学。一時帰国後、フランスのプザンソン大学数学科に進学。3人のお子さんを育てながらジュネーブ大学教育学博士課程修了(学術博士)、同大学経済学博士課程修了(学術博士)。2002年より現職。2010年より2012年まで経済協力開発機構(OECD)科学技術産業局次長。2011年フランス共和国より「レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ」受賞。



モデレーター

羽入 佐和子 氏

お茶の水女子大学長

専門分野は哲学。学術博士。副学長時代から、女性リーダー育成、女性研究者支援の施策にイニシアティブを発揮。国立の女子大学の学長として、多様性のある社会の実現に寄与すべく取り組んでいる。お茶の水女子大学の卒業生でもある。2009年4月より現職。

AWiLシンポジウム

グローバル女性リーダーが未来を創る

— お茶の水女子大学からの発信 —

【趣旨】

お茶の水女子大学では、女性リーダーの育成事業の一環として、多くの方々のご協力をいただき、現代の大学教育に女子大から一石を投じることを目指して A-WiL シンポジウムを開催しております。今年度は、とくに、これからのグローバル社会を担う若い女性たちへのメッセージの発信を意図しております。

グローバル化は、私たちの生活の中でも確実に進行しつつあり、たとえ日本国内にいても、その影響を受けざるを得ません。さまざまな価値観が交錯するこのグローバル社会の中で、どのように自己の価値観をかたち作り、社会に貢献し、また自己自身成長していけるのか。どのような能力を身に付け、異質な他者たちと協働していけばいいのか。本シンポジウムでは、これらの切実な問題について、これまでグローバル社会を牽引されてきた各界のリーダーをお招きして、その経験に基づく知恵を学び、広く深く考えていきたいと思っております。

本シンポジウムを通し、学生ひとりひとりが、グローバル社会の担い手となる勇気と励ましを得て、今何を学びいかに将来を思い描くかを考え、未来創造への第一歩を踏み出すことを期待しております。

パネリストからのメッセージ

● 國井 秀子氏 「お茶大が世界に貢献できること」

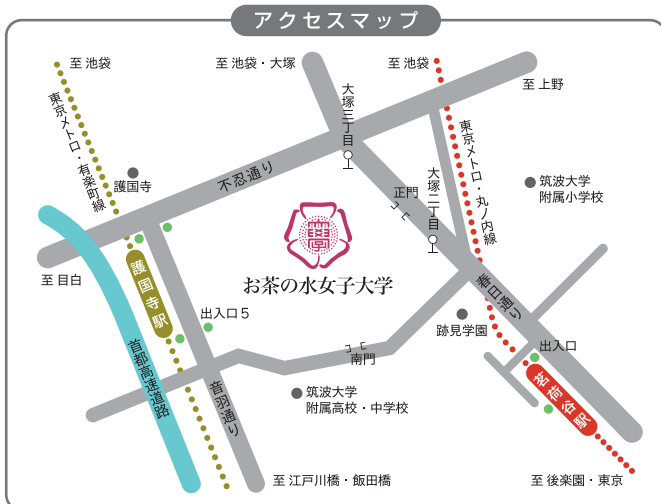
日本は政治・経済において女性の活躍が大変に遅れている国です。お茶大卒業生が各界でリーダーシップを発揮し、ロールモデルとなって、ジェンダー格差をなくせば、日本のみならず世界の女性にとって大きな励みになるでしょう。

● 橘・フクシマ・咲江氏 「企業が求める女性リーダーとは」

今、人材のダイバーシティ、特に女性の登用は、日本企業がグローバル競争に勝つための戦略的優先課題です。女性のグローバル・リーダーとしての適性をお話しし、グローバル・キャリアを目指して頂きたいと思っております。

● 原山 優子氏 「グローバル社会で学び自立するということ」

グローバル社会の中に身を置くことより、複数の価値体系の中で自己の確立を図ることが可能となりますが、その反面自らの軸を見失うリスクも伴います。その体験を糧へと変換する「すべ」について議論したいと思います。



お茶の水女子大学
Ochanomizu University